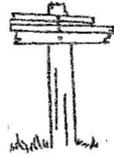


9 4 小屋作業報告

小屋作業CL 戸田 良和



昨年、老朽化が進んでいた山小屋BHの屋根が何とか張り替えられ、今年はいよいよ、床を張ることが使命となった。

春頃から、これに関する話し合いが3回生の間で始まり、計画としては、昨年に立てられていた案を引き継ぎ、具体的計画を立てていくことになった。

ところで、昨年大変苦労した資材搬入を、今回は春に行ってみようかという案が出た。春ならダムの水位も高く、資材搬入ボートがかなり上流まで入れるから…であったが、ボートを平日しか貸してもらえないことが分かって、この案は諦めなければならなかった。そして、やむなく、9月という水位の低い時期に行くことになった。

ところが、今年は異常な日照り続きで、ダムの水位が昨年以上に下がり、ボートが使えらるかどうか心配となった。しかし、9月7日に偵察に行った際、9月に入って雨が降ったこともあって、何とか出島付近まではボートが入れそうで、安心することが出来た。

9月14日に製材所に注文してあった木材が届き、翌日、この木材に防腐処理を施し、その他の資材はその後ホームセンターKURAYA等で調達した。

9月19日より小屋作業が始まり、2日目に、角間キャンパスからダムまでを学生課のトラックで運び、その後ダム所有のボートで出島まで、さらにその先、BHまでは歩荷を行った。

実際の作業は3日目の9月21日より始めた。土台としては強度に不安があったが、モルタルレンガ2、3個を積み、その上に角材を並べていき、その上にフローボードを張っていった。作業は予想以上に進み、22日の午後には床が張り終わり、その後23日の午後まで、ドアの製作、取り付けにあたった。(計画書、設計図参照)

<今後の課題>

今回、初日と4日目の午後に雨に降られたが、4日目の時に、屋根の方から2ヶ所雨漏りがあるのが見つかった。

原因は、屋根の一番上の梁が、上からトタンを被せてあるだけであったため、その梁から雨が染み込んで、それが滴り落ちていたのである。

とりえず応急処置として、ビニールシートを屋根上から被せ、内部の方は、張ったばかりの床に落ちないように、ビニールシートを敷いておいた。来年の春には何とかしなければならぬだろう。

しかし、床を張ったことで宿泊可能となった。来年度は、内部の壁がコンクリートむきだしなので、そこに板を張るくらいであろう。

<ベルクハイムの利用について>

ベルクハイムは宿泊可能になったが、今後どれだけ利用されるか疑問が残る。

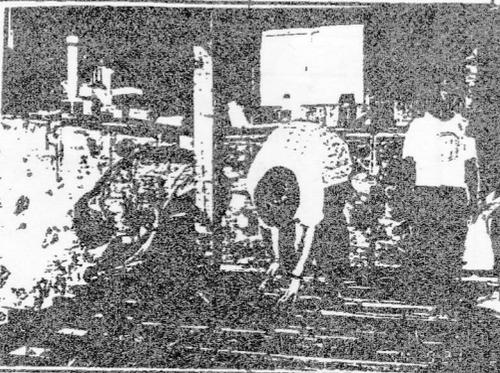
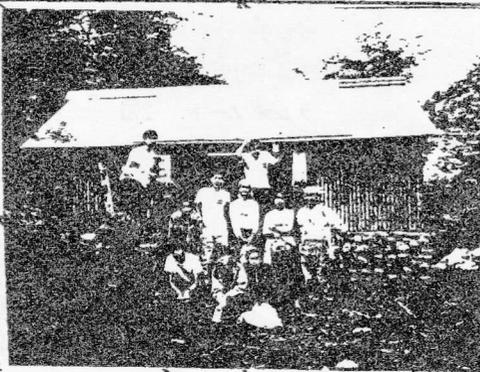
今回の小屋作業にしても、部員全体の雰囲気は、「やりたくないが、行事だから仕方なしにやる」という風を感じられた。また、春の新トレは高三郎であったが、それについて、下級生から反対の声があったのも事実である。それだけ、BHに対して、思い入れを持っている部員が少ないということである。

昨年からの修復を行っているが、これは、土台や梁などがまだしっかりしていたから出来たもので、何年か先に、昭和49年の改修工事のような大規模な修復が必要となった時、それが出来るか疑問です。おそらく、とてもあれだけのことは出来ないと思います。

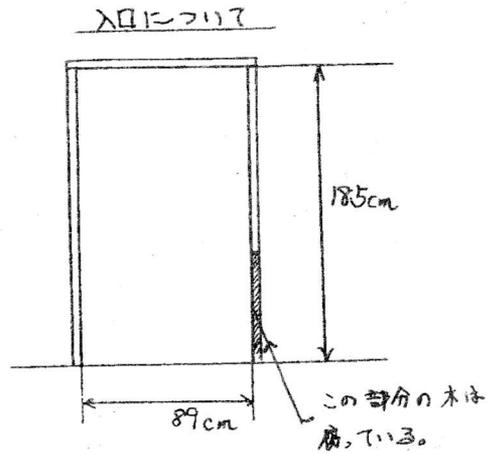
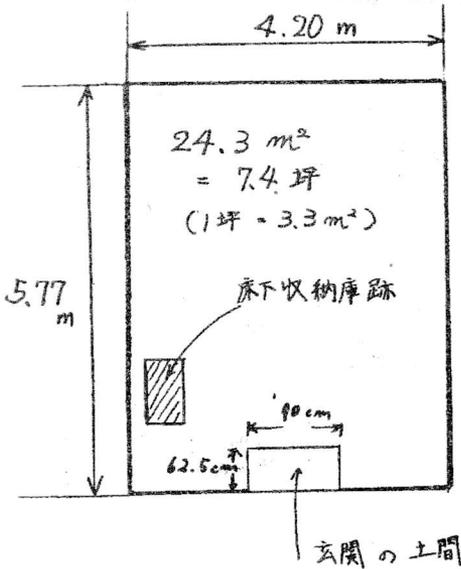
したがって、なるべく利用してこまめに修理し、少しでも長くもたせることが重要になると思います。

よって、今後、BHについて話し合われ、活発に利用する方法を考えていってほしいと思います。

(計画書、設計図については一部のみ紹介)

	A	B	C	D
9/15 (木)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作業日</div> ・準備作業			
9/19 (月)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">入山日</div> ・BH, テン場周辺の草刈り ・束石を置く ・17:00 終了	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">入山日</div> ・BH, テン場周辺の草刈り ・束石を置く ・17:00 終了		
9/20 (火)	・10:20までに合流点に到着, 解体 ・歩荷 (リレ方式) ・17:00 終了	・10:20までに合流点に到着, 解体 ・歩荷 (リレ方式) ・17:00 終了	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">入山日</div> ・10:00までに犀川9Aに到着, 解体 ・トラップの荷物をおろす ・ボートに積み込む ・歩荷 (リレ方式) ・17:00 終了	・9:00にトラップ着 ・荷物をトラップの板で込む
9/21 (水)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作業日</div> ・土台を組む ・12:00で作業終了 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下山</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作業日</div> ・土台を組む ・12:00で作業終了 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下山</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作業日</div> ・土台を組む ・17:00 終了	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">入山日</div> ・土台を組む ・17:00 終了
9/22 (木)			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作業日</div> ・床板を張る ・12:00で作業終了 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下山</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">作業日</div> ・床板を張る ・17:00で終了
9/23 (金)				

<内部寸法>



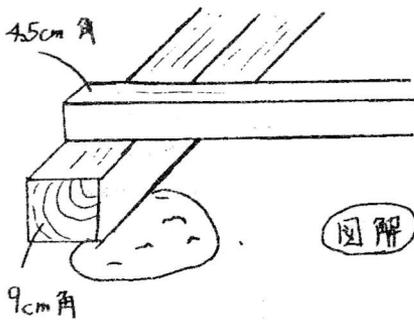
小屋作業会計報告

- 床下収納庫を設ける必要はないと思われる。

<工法について>

- 石 (またはブロック) の上に土台となる材を縦・横に並べて、その上にフローボードを打ち付けていく。

平面図を参照。



<主とした材>

- 9cm 角 x 4m 7.5本
- 4.5cm 角 x 4.2m 20本
- 70丁板 (30cm x 180cm) 8坪分 (48枚)

□収入 昨年度寄付金残金 269,085円

□支出

9/14	床用木材 (出村製材所)	94,000円
9/15	ドア用木材	5,849円
	その他材料 (税込み)	21,478円
	モルタルレンガ80個	4,000円
	水準器	780円
	カンナ	1,080円
	ノコギリ	1,280円
	クレオソート 2缶	1,760円
	ハケ 3本	1,500円
	軍手 30組	2,340円
	ノミ	1,080円
	ドアノブ	980円
	チョウツガイ	400円
	トタン	480円
	釘 接着剤	2,076円
9/17	バボナ (防虫剤)	1,009円
	コピー代	2,000円
	交通費 (バス代, ガソリン代)	15,045円
	その他	3,580円
	計	142,961円

□残金 126,124円